## マテリアルズ・ インフォマティクス の勉強法など

早稲田大学 応用化学科 畠山 歓

## マテリアルズ・ インフォマティクス

Materials Informatics







#### おすすめサイト・書籍など

- マテリアルズ・インフォマティクス-材料開発のための機械 学習超入門
  - MIの概要を知る
- 明治大学 金子先生のWebサイト
  - https://datachemeng.com/
  - MIのTipsなどが充実

#### 東京大学の

塚本邦尊、山田典一、大澤文孝 [著]

#### データサイエンティスト

育成講座 Pythonで手を動かして 学ぶデータ分析



「これからデータサイエンティストとして活躍したい方だけで なく、研究や開発の現場で利用したい方、個人や組織の 持つデータを解析する技術を身に付けたい方など、幅広い 方に対する入門書として利用できるように構成しています」



・ 東京大学 大学院工学系研究料 松尾研究室 リサーチディレクター 中山 浩太郎

## おすすめ書籍

Pythonで手を動かしながら、データサイエンスを 学ぶ

#### MIのやり方

- プログラミング言語(例: Python)を使う
  - ・敷居は少し高い
  - ・ 拡張性に優れ、最先端のモデルなどを使えるので、最終的にはこれ一択
- ソフトウェアを使う
  - 雰囲気を知るのにお勧め。下記に例。
  - KNIME
    - ・機械学習ツール
  - Neural Network Console
    - ・深層学習ツール
  - Microsoft Azure Machine learning
    - ・ 機械学習ツール

## 勉強の 基本姿勢

- ・ 習うより慣れる (プログラミングの基本)
- 分からないことは、聞く or 検索
- まずは完成済みのコードを真似・改変してみる

マイルストーン

Pythonの基礎を習得

機械学習の基礎的な勉強

材料構造から物性を予測



# Python入門

## 参考 MIに必要な 基本技能

- 1. Python 基本文法
- 2. 基本的なライブラリの操作習得 (numpy, pandas, matplotlib)
- 3. 機械学習ライブラリの操作習得(Scikit-learn)
  - 各種回帰モデル (Lasso, ランダムフォレスト)
  - データセットの作成(正規化, 訓練・試験データ分割)
  - 任意: 次元圧縮
- 4. 任意: ニューラルネットワークの操作(Keras)
  - 画像認識(MNIST, cifar10)、文章 (LSTM,seq2seq)、その他(VAE, GAN, ...)
- 5. 化学構造の取扱い (RDKit)
  - Fingerprintや記述子を使い、"化学構造を数値 化"
  - 公開データーベースを用い、融点などの予測

#### 基本文法の習得

#### ・Webサイトの活用がおすすめ

- ・プロゲート https://prog-8.com/users/sign\_in
- ・Numpy, pandas,線形回帰など 入門

https://www.codexa.net/

・ディープラーニング入門

https://aidemy.net/courses/5090

Paiza

https://paiza.jp/works/python3/primer

Aidemy

https://aidemy.net/courses/3010

#### 機械学習に最低限必要なレベル?

- 誰かが書いたコードを実行できる
- 基本ライブラリを少し使える (numpy, pandas, matplotlib)
- ・機械学習ライブラリを少し使える (scikit-learn)

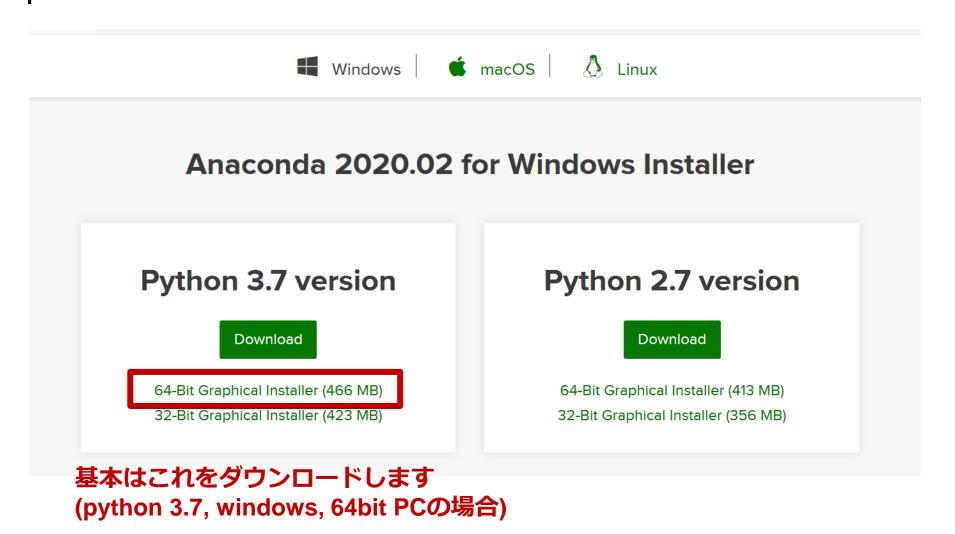
```
mirror_object
   peration == "MIRROR_X":
 mirror_mod.use_x = True
 mirror_mod.use_y = False
 mirror_mod.use_z = False
     _operation == "MIRROR_Y":
  lrror_mod.use_x = False
   lrror_mod.use_y = True
    lrror_mod.use_z = False
        _operation == "MIRROR_Z"
          rror_mod.use_x = False
       lrror_mod.use_y = False
        rror_mod.use_z = True
        election at the end -add
          ob.select Dythonの導入

ier_ob.select Dythonの導入

"Selected" + str(odiffice) of the str(odiffic
           irror_ob.select = 0
        bpy.context.selected_obj
           mta.objects[one.name].sel
          int("please select exaction
          -- OPERATOR CLASSES ----
              ypes.Operator):
                X mirror to the selected
          ject.mirror_mirror_x"
   Fror X"
```

## Pythonのインストール

Anacondaというパッケージをダウンロードし、実行https://www.anaconda.com/distribution/#download-section

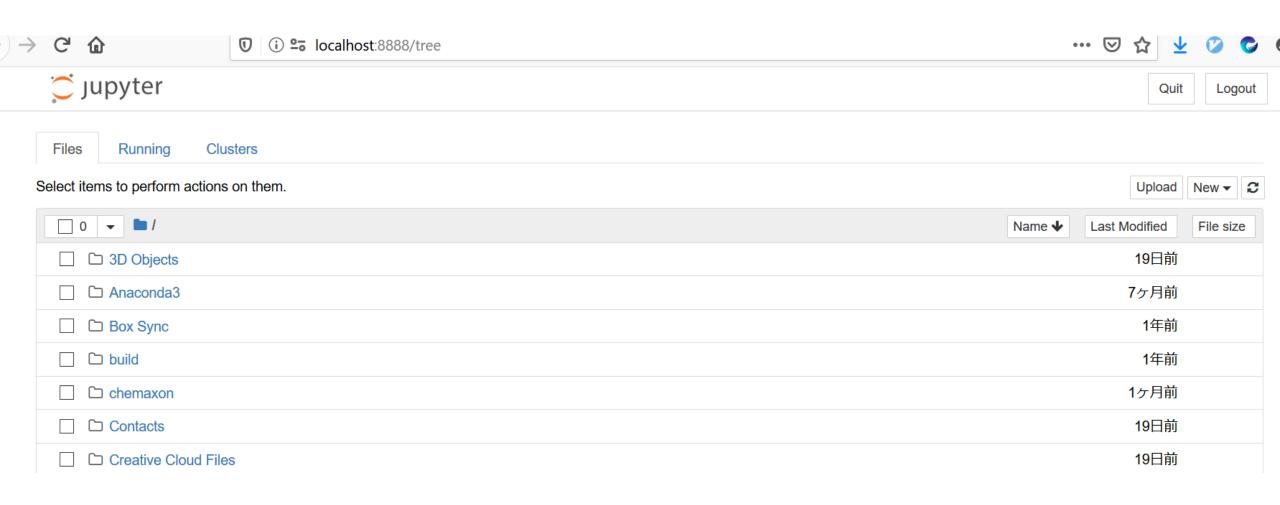


### 起動方法



Windowsのスタートメニューから "Jupyter notebook"と入力し、 このアプリを実行

## ブラウザにこんな感じの画面が出てくる



### 好きな場所に作業用フォルダを作る

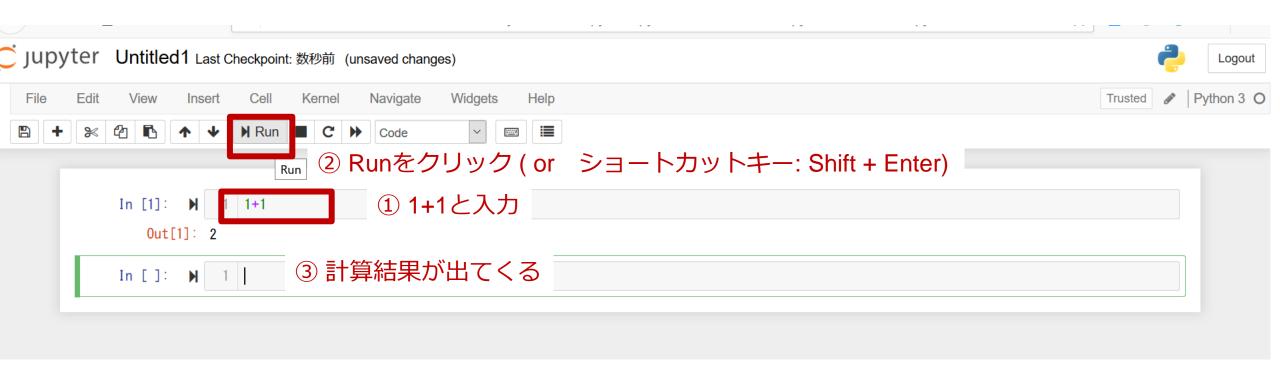


## 好きな場所にpython用のファイルを作る



※Python 3をクリック ("chem"という項目はデフォルトでは出てきませんので無視して下さい)

### スクリプトの入力画面が出てくる



#### もっと複雑な計算をする

"import numpy as np"

と入力 (計算用ライブラリnumpyをnpという略称で使いますという宣言)

```
色々と計算をしてみる
例)
sin(2)+cos(999)
sin(π)
sin(1+i)
```

exp(1)

```
In [2]:
                  import numpy as np
 In [4]:
                  np. sin(2) + np. cos(222)
    Out[4]: 0.41439901223627934
                  np.sin(np.pi)
In [11]: ▶
   Out[11]: 1. 2246467991473532e-16
In [12]: ▶
                  np. sin(1+1j)
   Out[12]: (1. 2984575814159773+0. 6349639147847361j)
In [14]: ▶
                  np. exp(1)
   Out[14]: 2.718281828459045
```



## やってみよう1

• Numpyを使って、 $e^{-i\pi}$ を計算

#### やってみよう2

#### (プログラミングの勉強が必要)

- 次のような九九の表を作る
- 多重ループを使うこと
- ヒント:改行しないでprintする 方法は、"print 改行しない"で google検索

```
- 6
                          8
              F
                         16.
                             18
                                20.
3
              15.
                 18
                         24
                     21
          16
                 24
                     28
                         32
                             36
                                40
             20
             25
                 30
                     35
                             45
                         40.
                                50
                 36
                     42
                         48
                            54
             30
          24
                                60
          28
             35
                 42
                     49
                         56
                            63
         32
             40
                 48
                     56
                             72
                         64
                                80
             45
          36
                 54
                     63
                         72
                             81
                                90
             50
                 60
                     70
                         80
                             90
          40.
                                 100.
     33
         44 55
                 66 77
                         88
                            99
```

今後、何をするか?

### 例

<u>1) MIセミナー動画</u>

(2020年度の講義(学内)用に作成した入門動画)

2) KNIMEによる材料探索(任意)(プログラミング無しで、分子物性を予測する)

3) PythonによるMIの基本コードの動作確認

4)プラスα